

カリキュラムおよび教材開発： 「英語リーディング&ライティング」

全学共通カリキュラム運営センター英語教育研究室／

異文化コミュニケーション学部准教授 山本 有香

2016年度の英語必修カリキュラムの改革の1つとして、「英語リーディング&ライティング」が新たに導入された。旧カリキュラムにおいては、アウトプットに重点が置かれ、その代表としてプレゼンテーション、ライティング、ディスカッションクラスがある。しかし、学生のリーディング力不足が指摘され、専門教育においても、専門書や学術論文を読みこなすのに苦戦をしている状況が報告され、新カリキュラムにおいては、リーディングおよびライティングの両スキルを関連させながら育成を図ることとした。

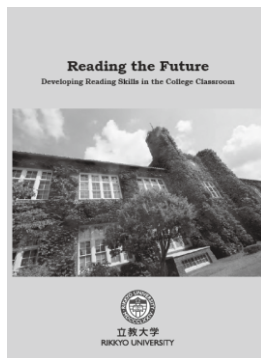
カリキュラムの内容

春学期は主にリーディング力向上を目指し、skimming (大意の読み取り)、scanning (必要な情報の検索)、patterns of organization (文章構成の把握) や summarizing (要約) などの読解スキルの訓練を行い、accuracy (的確かつ素早く読む習慣) をつける。また、課外では学生個々人の英語レベルに合わせた graded readers を使用し、その中から興味のある本を選択し、extensive reading (多読) を行い、fluency (流暢性) ならびに語彙力の強化を図る。

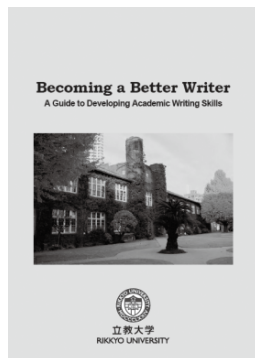
そして、秋学期には、春学期に培ったリーディング・スキルを応用させながら、ライティング力の育成を図る。秋学期は英語のレベルによるが、パラグラフやエッセイを書く力を養成する。リーディングを通して模範となるパラグラフやエッセイを読み、英語での文章の書き方を学んでいく。学期を通して書く練習を繰り返し行い、学期末には所定の様式に従ってタイプしたエッセイを提出する。また、正確な英文作成に不可欠な文法力、語彙力向上も強化する。

オリジナル副教材の作成

設定したカリキュラムに完璧に合う教材は残念ながら存在しない。そこで、出版されている教科書と並行して、どのクラスでも共通して必ず習得してもらいたいスキルを集約させたオリジナルの教材を作成した。春学期の副教材 Reading the Future は、主にリーディング力向上に重点を置いているため、リーディング・スキルに焦点を当てた。



Reading the Future
リーディング副教材



Becoming a Better Writer
ライティング副教材

また、秋学期の副教材 *Becoming a Better Writer* は、ライティング力向上を図るため、既にオリジナルで作成していた副教材を元に編集し、より教員および学生が主体的・実践的に教材を活用できるようなアクティビティを追加し、具体的で分かりやすくした。

FDの活用

新カリキュラム運営においては、講座内容の周知徹底が要であることから、リーディング・ライティングのクラスに関する教員用FDを2度実施した。既にライティングは旧カリキュラムにて導入されていたため、馴染みのないリーディングに焦点を当てた。同じ英語教員とはいえ、背景や経験は多様であり、学術的根拠や教育的効果についても紹介したのち、最初のFDでは、リーディング・スキルの教授方法、オリジナル教材の使用方法についてディスカッションを行った。また、後半ではより実践的にワークショップを実施し、各スキルをどのようにクラスの中で導入するかについて、グループに分かれてディスカッションを行い発表してもらった。2度目のFDでは、多数の多読についての質問が寄せられていたため、多読の評価方法の新たな提案及び活用法について紹介し、その後、全教員を交えグループディスカッションを行い、多読の授業内・授業外の活用法について意見をシェアした。

カリキュラム開発とは、学生や教員、大学のニーズを最大限に取り入れ改革を続けていく、never ending process (終わりなきプロセス) である。そのうえで、各クラスの目的を設定し、シラバス (各クラスの授業内容、教材選定、評価方法など) を作成していく。今後も、立教大学の全学共通科目における英語は、改革を続けていこう。忘れてはいけないのは、学生や教員の声にしっかりと耳を傾けそのニーズをとらえ、少しでも問題解決へと導くことであろう。

やまもと ゆか

Syllabus

英語リーディング&ライティング1 (R) 春学期

授業の目標

Course Objectives

リーディングとライティングとを関連させながら両スキルの育成を図る。春学期は主にリーディング力向上を目指す。

授業の内容

Course Contents

読解スキル（大意の読み取り、必要な情報の検索、内容の推測、文章構成の把握や要約等）の訓練を行い、的確かつ素早く読む習慣をつける。また、課外では多読をすることでリーディング力ならびに語彙力の強化を図る。

授業計画

Course Schedule

1. 授業概要説明
2. 読解スキル (previewing) ・多読
3. 読解スキル (discovering topic sentence) ・多読
4. 読解スキル (scanning) ・多読
5. 読解スキル (skimming) ・多読
6. 読解スキル (annotating) ・多読
7. 読解スキル (復習) ・多読
8. 読解スキル (patterns of organization) ・多読
9. 読解スキル (復習) ・多読
10. 読解スキル (vocabulary knowledge) ・多読
11. 読解スキル (summarizing) ・多読
12. 読解スキル (making inferences) ・多読
13. 最終課題準備
14. 授業のまとめ

Syllabus

英語リーディング&ライティング2 (W) 秋学期

授業の目標

Course Objectives

春学期に培ったリーディングスキルを応用させながら、ライティング力の育成を図る。秋学期は主にパラグラフやエッセイを書く力を養成する。

授業の内容

Course Contents

模範となるパラグラフやエッセイを読み、英語での文章の書き方を学んでいく。学期を通して書く練習を繰り返し行い、学期末には所定の様式に従ってタイプした作文を提出する。また、正確な英文作成に不可欠な文法力、語彙力向上も強化する。

授業計画

Course Schedule

1. 授業概要説明
2. 英語ライティングの書式とスタイル
3. パラグラフの特徴・多読
4. パラグラフの種類 (1) ・多読
5. パラグラフの種類 (2) ・多読
6. 中間課題 (1)
7. 中間課題 (2) 修正
8. エッセイの種類と構成 (1) ・多読
9. エッセイの種類と構成 (2) ・多読
10. エッセイの種類と構成 (3) ・多読
11. 最終課題の準備 (1)
12. 最終課題の準備 (2)
13. 最終課題提出
14. 授業のまとめ